

物語としての構想を巡らせて、ひとつの作品を仕上げる。
自分の内面と向き合いながら、ひたすら自己を練磨していく。
その達成感を繰り返すことができた人は、その時点で人生の勝者である。



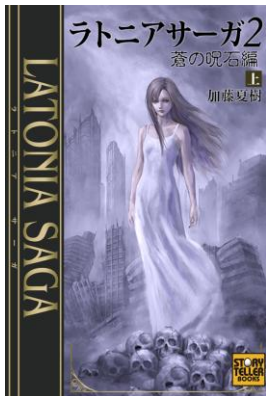
<http://storytellerbooks.jp/>

電子書籍専門出版レーベル「Storyteller」。2012年10月、3作品発表！ App Store、Andoroid Marketにて、作品販売開始！

電子書籍専門のエンターテインメントレーベル「Storyteller」(運営: 有限会社Storyteller 代表取締役社長 波房昭夫)は、2012年10月度、以下の作品をリリースします。当レーベルは、ノベルを中心に、App Store、Andoroid Marketなどで販売する電子書籍の制作・プロデュースを行う「電子書籍専門出版レーベル」です。

－2012年度10月度 リリース作品－

■加藤夏樹『ラトニアサーガ2 蒼の呪石編上 下』10月12日販売開始(APP STORE、Adoroid Market)



「ラトニアサーガ」シリーズ希望の第2巻！2600年もの時代を経て、尚も人類に災厄を振りまく7つの呪石。進むも退くもできないこの円熟の時代に、人々に何が起きるか、人々は何を目指すか、それは現代社会への問いそのものだと思う。ラトニアサーガは、我々への挑戦であり、我々の物語である。



たったひとりの人間から紡がれた思想が、ひとり歩きを始め、世界を呪う。インターネット上に、突如、出現した新興宗教「新世界」。ダラスが誇るスーパーコンピューター「ネメシス」が「新世界」に乗っ取られた。「新世界」は国家を名乗り、ダラスを内側から転覆させようと動き始めた。

■吉柳はじめ『さよなら地球』10月12日販売開始(APP STORE、Adoroid Market)



何の前触れもなく、ある朝、世界は緑に浸食され、当たり前前の日常は消え失せてしまった。世界は美しく、ゆっくりと滅んでいく。もはや世界も自分も、どこにも向かわない。退廃的な世界の中で、切なく自分の存在を問いかけ続ける、新進気鋭の女流作家が紡ぐ渾身のファンタジー。

作家プロフィール

加藤夏樹
(かとうなつき)

「国際謀略ノベルが書きたい」と、国際政治学修士を取得。思想的背景にミハエル・エンデやルドフ・シュタイナーらの影響を受け、2002年頃、ネット上で話題となったファンタジーノベル『Latonia Saga』を昨年当レーベルで発表。

吉柳はじめ
(きりゅうはじめ)

現代社会に潜む小さな歪、日常にありふれた綻びを鋭利に描き出す、気鋭の女流作家として、昨年、当レーベルより、『白雪姫は目覚めない』『虫籠』『家族ランドリー』の3作品を発表。執筆ジャンルは、ミステリー、ホラー。

装画について

◆村田修 「さよなら地球」

◆村田修の代表作－三津田 信三著『密室の如き籠るもの』『水魍の如き沈むもの』などの装画

◆二見敬之 「ラトニアサーガ2 蒼の呪石編上 下」

◆二見敬之の代表作－SEGA「三国志大戦3」(カードイラスト)CAPCOM「モンスターハンターハンティングカード」(カードイラスト)など

■本件に関するお問い合わせ: 有限会社Storyteller 久保健 info@storyteller.jp